

かぎやりよくち 加木屋緑地

加木屋緑地とは

加木屋緑地は東海市南部の加木屋町地内に位置し、南北に延びる丘陵地です。敷地内には御雉子山（東海市内の最高点：標高59.2m）を最高点として、その南側に50m超の山頂が2つ連なっています。また北側には函賀奈池があり、池やその周辺では多くの生物が確認されています。

加木屋緑地の地層は東海層群と加木屋層の地層が分布しており、東海市内を南北に走る加木屋一成岩断層の活断層の区域に入っています。

加木屋緑地の面積：13.9ヘクタール

加木屋緑地の目的

東海市南部における『自然環境再生拠点』として、貴重な緑を保全し、また新たな緑を創出することにより、都市環境の改善や都市景観の向上を図るとともに、市民が身近に自然とふれあうことを目的としています。

おきじやま 御雉子山とは

函賀奈池周辺の地名は雉子野といい昔、キジを始めとした多くの野鳥が生息していたので、雉子野と名付けられました。寛文年間横須賀御殿へ来た尾張二代の藩主徳川光友（1625年～1700年）も、しばしばここで鷹狩りをしたので、近くの山に御の敬称をつけ、御雉子山という名称になりました。



みはらしの森ゾーン

展望台のある見晴らしの良い場所です。市街地を近景に、丘陵地を遠望できます。東斜面は市民参加の植樹により郷土の森を再生しています。



成長の森ゾーン

ここでは竹林や田畑でしたが、里山の自然を保全しながら郷土の森を育てています。20年、30年先を見据えた森づくりを考え、郷土の自然を未来につなげていきます。



水辺の森ゾーン



函賀奈池の周囲に茂る森には、水辺に近いこともあり、多くの野鳥や昆虫が訪れます。池に張りだした枝や池のふちを観察してみましょう。

散策の森ゾーン

ホンドタヌキ



御雉子山の東斜面を散策することができる森です。晴れていれば頂上から、北北東の方向に御嶽山が見えます。

凡例

- トイレ
- 駐車場
- あずまや
- ベンチ
- 階段
- 健康器具
- 水辺の森ゾーン
- 散策の森ゾーン
- みはらしの森ゾーン
- 成長の森ゾーン



0 50 100 200m

